

# □農産高等学校 定時制 グランドデザイン

## 1.学校の現状

生徒概要	・共通教科と専門教科(農業)について、1学年1学級の落ち着いた環境の中で学習している。入学後、授業や特別活動に積極的に参加し、充実した学校生活を送る生徒が多く、着実に学力を向上させ、学校行事や部活動で活躍している。
特別活動	・園芸部の活動として、日比谷ガーデニングショーに作品を出品、過去に最高賞である農林水産大臣賞の他、都知事賞なども受賞、2020年世界らん展ではハンギング部門で最優秀賞を受賞した。
PTA活動	・PTA総会には、保護者の学校に対する意識の高さを反映して多数の参加があり、クラスごとの保護者会では、活発な意見交換が行われている。 ・定期的に保護者サロンを開催し、保護者が専門教科を学習するとともに、保護者同士の情報交換や教員、YSW及びSCとの相談の機会となっている。
地域活動	・地元で開催される産業フェアでの販売会では、住民から好評であり、また商店街のお祭りでは毎年生徒がボランティア活動に参加し、緑日などの催し物に協力している。 ・定期的を実施している防災・避難訓練では、地元消防士や消防団の方々から指導をいただいでおり、これらの活動を通して地元との連携が強められている。
重点課題	・意欲的な生徒や着実に努力・向上している生徒がいる一方、学習や他者とのコミュニケーションを苦手であると感じている生徒もいる。 ・これらの現状を改善させるべく、職員が一丸となり、教育活動や生徒に関する情報を共有し、地域との連携を進め、一層の教育活動の充実を図る。

## 2.教育目標

学習指導	・共通教科と専門教科(農業)の学習をとおして、基礎学力を定着させ、次世代の農業を創造するための専門的な知識・技術を習得させる。
生活指導	・挨拶や時間を守り、社会で必要とされる基本的な生活習慣や規範意識を身に付け、安全・安心な学校生活を送ることができるよう指導する。
進路指導	・専門教科(農業)を意識したキャリア教育を推進し、農業を創造する志をはぐくみ、生徒のより良い進路選択を側面から支援する。
食育指導	・専門教科(農業)を基本とした食育に取り組みや給食をとおして健康な生活や身体作りを身に付けさせる。
特別活動・心の充実	・部活動や行事、特別活動などを充実させ、生徒の自主性を高め、奉仕の精神やコミュニケーション能力の向上を図る。 ・個に応じ、1人1人の心を育てる教育を推進し、自他の生命や人格を尊重する態度を養う。

## 3.学校経営計画

E S D	・持続可能な発展のための教育(ESD)を推進する。	課題研究	・全校課題研究発表会を実施し、言語活動の充実を図る。
5 S	・整理・整頓・清潔・清掃・躰(5S)の取り組みを推進する。	生産管理	・栽培指導や食品製造指導において、GAPやHACCPなどを取り入れる。
技能標準	・農産定技能スタンダードを達成する指導を、組織的計画的に実施する。	成果発表	・内外において、学習成果を積極的に言い、その客観的評価が得られる機会を設ける。

## 4.育成すべき資質・能力

基礎学力	・学習に取り組む姿勢を定着させ、基礎学力を身に付けさせる。知識・技術を深め、自ら新たな情報を得ることで、発展した知識の醸成につなげる。
課題解決能力	・課題を発見する力、課題解決に向けて自分なりの方法を考える思考力・判断力・表現力、実践する行動力を養う。 ・発見した課題に対して主体的に取り組む、組織の中で中心として活躍し運営に貢献できる
言語能力	・協調や責任などのバランス感覚を覚え、聞く力や伝える力を身に付け、高いコミュニケーション能力を養う。 ・社会人としてふさわしい言葉遣いや規範意識をもち、相手の立場や気持ちに合わせた表現ができる。
主体性と社会性	・何事にも何事にも積極的に取り組み、社会で活躍できる人材である。社会の一員として、地域社会に貢献し、健康で健全な生活を送れる。 ・自分だけでなく組織全体を見渡せる視野と、リーダーシップを持ち、周囲の人材と協力しながら物事に取り組むことができる。

## 5.育成すべき資質・能力の具体的段階

	基礎学力及び専門知識・技術	問題解決能力	言語能力(読む/伝える力)	主体性・社会性
レベル1	全ての教科に学習意欲が必要	課題解決に向けた意欲が必要	伝達力や読解力の向上が必要	物事に対する意欲が低く、コミュニケーション力が必要
レベル2	すべての科目の単位を修得	指示があれば問題解決ができる	必要最低限の読解力と伝達能力を持つ	自分の業務や担当範囲に限り、取り組むことができる
レベル3	社会人として必要な知識・技術を習得	修得した知識・技能で "	社会人としてふさわしい言葉遣いができる	自発的に行動し、他者と協力して行動できる
レベル4	情報を収集し、発展的知識を得られる	既存の知識を超え、問題解決を図る	他者の立場・気持ちに寄り添う "	組織全体を見渡せ、全体運営に必要な行動をとれる
レベル5	高い知識・技術を備え、説明・指導可能	組織の中心となって "	多角的思考・判断を基に言語表現ができる	リーダーシップを発揮し、周囲と協力し物事を遂行できる

## 6.目指すべき生徒の将来像

未来志向	・幅広い視野を持ち、国際化・情報化・少子高齢化など激変する社会状況やそこから生ずる様々な問題に対して、より良い方向への志向や行動ができる人材
自己確立	・自己肯定感や自己効力感があり、失敗や挫折を乗り越えその経験に学びながら、判断力や決断力を身につけ、精神的な成長ができる人材
自己実現	・職業人として必要な豊かな人間性を身に付け、社会人としての公的資質と教養を持ち、卒業後は地域や社会の一員として活躍ができる人材